

第 144 回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2024 年 4 月 4 日（水）18：30～20：00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1 階交流フロア

2 参加者数 25 名

3 会議内容

<新規提案>

（1）すき間時間に代謝を上げよう！座ったまんまでながら椅子ヨガ

【概要】

・今年の 1 月に、ココロとカラダを整える椅子ヨガを開催し大変好評だった。またやってほしいというご要望に応え第 2 弾を開催したい。

・今回は夏に向けてエアコンに触れることが多くなることから、簡単に椅子の上でできる代謝の改善や体温を上げる効果のあるヨガ紹介する。

・具体的には深い呼吸をすることで内臓機能の調子をよくしていくもので、簡単に家事の合間、お仕事の合間に取り入れられるポーズや知識などを紹介。ご高齢の方に絞らず、幅広く対象にしたい。

・所要時間 45 分ほど、レクチャーが 15 分で、そのあと 30 分ほど軽く体をほぐす形の流れを考えている。

【意見】

・前回の開催は平日午前だったので、対象とした高齢者の方が参加できたが、20 代以上と幅広い年代を対象にするのであれば、基本休日である土日開催が良いと思う。

・何かこう代謝を上げるのにいい時間帯は何時ごろか。

→午前中が良い。

・好評だったということだが、定員を 15 名から増やすことはできるのか。

→痛みがある場合とかは、ご自身の自己責任で行ってくださいとアナウンスは行うが、目が行き届く範囲である 15 人が望ましい。

（2）廃材を使って夏休みの宿題をしよう！

【概要】

・廃材を使って夏休みの宿題をしようというタイトルのもと、牛乳パックとか、ペットボトルの蓋とか色んな物を使って、宿題を取り込もうという企画。昨年開催し好評だった。

・昨年に牛乳パックでガチャを作った親子から、「こんなに子どもとマジでしゃべったこ

とがない」という感想もいただいた。今回も低学年と保護者の方に来ていただく形をとる予定。

- ・学校よりも先にカッターナイフを使ったりするお子さんがいるため、低学年の方は保護者同伴とする。
- ・材料費として 200 円の徴収を考えている。
- ・製作作品の候補はガチャと万華鏡。低学年向けにちょっと簡単にできるマイクも用意。

【意見】

・去年、材料が足りず集めて欲しいというような話があったと記憶している。ことば蔵に回収 BOX を置くのはどうか。

→前回は準備を始めるのが遅かったため、協力をお願いしたが、今年は既に牛乳パックを集め始めているので、大丈夫だと思う。

・保護者は両親でないといけませんか。

→両親じゃないといけないことはないです。おばあちゃん、おじいちゃんが一緒にこられる方もいらっしゃる。

・祖父母でも可能な事をチラシに書いた方が、より参加しやすくなると思う。

→検討します。

・中学生の参加は可能ですか。

→毎年申し込みが多く、どうしても小学生対象にはなる。スタッフの子どもの中学生在サポートへ回ったりする予定。

・小学生の高学年や中学生であれば、保護者なしで参加していいのか。

→低学年はカッターなどを使うため保護者に同伴いただきたいが、高学年は学校でも使っているため子どもだけでも参加可能。過去の参加者をみると、高学年の子どもでも保護者の方も一緒に来られる方も多かった。

(3) からふる夏まつり (仮)

【概要】

・「からふるいたみ☆こどもネットワーク」は、子どもの居場所をはじめ、いろいろな人の居場所づくりや、一つ一つをつなぐような活動を行っている団体が集まって一つのネットワークを作り必要としている人たちに必要な情報を届けるということを活動している。3月のイベントは登録している団体の紹介がメインだったが、夏のイベントに関しては、その各団体の活動を、体験してもらおうという企画。

・最初にそれぞれの団体について、簡単に代表から一言ずつ話す。その後は各団体がやっている活動が体験できるお店を設置して自由に回ってもらう。お店については、ゲームや工作、あと学習支援をしている団体が学習支援をするのは堅いので、クイズ形式を想定している。

- ・スタンプカードを作り、お店を巡り全部そろえたら、何を渡すかは決まっていなくても特典なども用意したい。
- ・子どもが一応メインにはなるが、親御さんも参加してもらいたい。大人の居場所作りをやっている団体もあるので大人の方もぜひ来てもらいたい。
- ・一応定員は 30 人くらいとしているが、ずっと同じ人が留まっているわけではないため、人数は検討する。

【意見】

- ・昨年開催した複数のブースを自由にめぐる形式のイベント（夏休み子どもワークショップ）で、防災ランタン作りや、フードロスについて考えるというなど 6 ブースを設置し、親子合わせて 100 人くらいの参加があった。参考にしてみよう。
- ・夏祭りっていうぐらいなので、たくさん参加者が来ることを想定しておいた方がいいと思う。
- ・スタンプカードを全部押したらどうなるのか。
→折り紙など、物をあげたい。シール張るのもあり。お菓子とかはアレルギーの問題があるため NG
- ・10 団体で 10 ブースはちょっとフロアが狭いかもしれない。
- ・紙芝居づくりを毎年夏休みに実施しているが、人が集まりにくく困っていた。去年の夏休み子どもワークショップがすごく盛況だったと聞いていたので、ぜひ仲間に入れてもらいたい。
- ・学習支援は、何かクイズみたいなことをすると言っておられたが、個人的にはそういうコーナーが 1 個あってもよいと思います。ちょうど夏休みだし、学習支援の実際の様子を紹介できるし宿題もできて一石二鳥だと思う。普段取り組んでいることをそのままここに持ってきた方が絶対いい。
- ・参加者は流れていくので団体紹介を最初と最後に言うなり、真ん中にもう 1 回しないと PR にならない。
→ブースに説明パネルを設置して、子どもが楽しんでいる横で大人にパネルを見てもらう。

（４）キラキラブロックワークショップ

【概要】

- ・高級印刷用紙の端材利用プロダクトを開発し SDGs に貢献する。端材でブロックを作り、それらを結合することで造形製作を行うワークショップを開催する。
- ・高級ブランドの化粧品とかの包装に使われている紙は少し傷があると使えないので返却される。この紙を利用してブロックを製作する。
- ・高級な紙を利用しているので、美しく、接合部がしっかりしているので組み合わせて、

1メートルぐらいのものまで作成ができる。

- ・44 mm、22 mm、15 mm角の3種類を用意しているが、15 mm角は小学生には難しい。能力を見ながらしていきたい。

- ・ワークショップ時間は、45分予定。7月・8月に2回したい。人数は10組前後を想定。

- ・最初にレクチャーをしっかりと行う。8歳以上で設定しているが、8歳以下でも保護者同伴なら可能。保護者の方の方が本気になってくることがある。

- ・制作したものを比較して欲しい。みんなで自慢しあうみたいなものをやりたい。

- ・材料費というよりも、準備費というか、説明書の費用で200円ほど集めたい。

【意見】

- ・ぜひ、大人の講座を実施してほしい

→いずれはしたい。

- ・すごく興味があり子どもと参加したいが、今の企画書では伝わってこない。

→伝わるものを作成する。

- ・講師について書かれていますが、講師は開発担当者メーカー社員ですか。

→紙メーカーの社員がサポートする。

- ・材料費について、ここでやるイベントは基本参加無料のイベントでお願いしている。材料費が必要な場合は、イベントのために購入した材料のレシートを提出いただいてその金額分を振り込む形になる。

(5) Third Culture Kids (TCK) による異文化交流会

【概要】

- ・帰国子女や、日本で暮らす外国人の家庭のお子さんのように、2つ以上の文化のはざまで生きている。また自分なりの価値観や、考え方を育んでいる、いろんな経験がある子ども達を Third Culture Kids (TCK) という。

- ・大人になったTCKをAdult TCK (ATCK) と呼びます。日本ではあんまり、馴染みのない呼ばれ方だが、実はもう70年ぐらい前からある概念で、欧米では研究が進んでいる。

- ・私自身もアメリカで生まれ育った経験がありまして、ATCKにあたる。TCKは、多様な価値観を受けやすかったりとか、あとはちょっと視野を広く持てたりとかそういうところもある一方で、主に、アイデンティティの形成にちょっと課題があったりする。家の中と外で全然文化が違ったりとか、あとは海外に引っ越す海外から引っ越してくるというふうになると、昨日と今日で、世の中の常識が変わってしまうような形になるため、子どもがアイデンティティをちょうど見出そうとしている最中にそういった大きな環境変化があると、結構戸惑ったり悩んだりする。そういう経験をしてきているので、活かしたイベントを何か企画できないかなというふうに思って、今回提案させていただいた。

・伊丹で暮らしている外国人の方々が日々感じているカルチャーショックや、何か思ったのと違うとか、あるいは日本人って凄いいたいなことを話し合う、外国人の方々と交流会を開催したい。

・規模としては大体TCK、ATCK15人程度、外国人の方も同じくらいを考えている。自己紹介から始まってあとは、少人数のグループに分かれて何かテーマを持って話してみる。

【意見】

・TCKの人達の集まりがあってその人たちが参加するのか、個別で募集するのか、また別に仕事できている外国の方を集めるってことですか。

→公募って募集しようと考えています。ちょっとどういうふうにするかは相談していきたい。

・伊丹は、そこまでまだ外国人の方は多くないと思いますが、何人ぐらい集まると考えているのか。

→実際の人数全体はわからないが、伊丹市が開催している外国人との交流会に参加させていただいて、20人ぐらいの外国人の方がいらっしゃった。アジア圏が多い。飲食店でもお見掛けして、ちょっとお話すると、交流できる場が実はあまりなくて、欲しいよねと聞いたりしていた。どうやって情報を届けるかっていうところが課題ではあるが、ニーズはあると思っている。

・チラシは何語で作るのか。

→日本語と英語はとりあえず作る予定。交流会でかかわらせてもらった中国の方とか、もしご協力いただければそうやって完全な3言語っていうよりはちょっと補足で、他の言語も少し入れていただくような形にはなると思う。

・以前、同和・人権・平和課で防災の講習会を一度開催した時は、やさしい日本語で対応した。勉強してから来ているので、基本的には日本語が一番だと思う。漢字はわからない人が多いが、ひらがなを使って優しく書けば大体通じる。英語圏じゃない人とか結構多いから日本語が共通語となる。同和・人権・平和課や日本語学校があるので、参加者募集の協力をお願いしてはどうか。

・このTCKの方々を募集するほうが逆に難しいのかなと感じる。

・ことば蔵では学校への広報はされていますか。

→あまりすると学校側への負担になるため半年に1回か3か月に1回くらいの頻度でお願いしている。

・学校での連絡はグーグルクラスルームでチラシデータが届くが、まず誰も見ない。外国人の方は、そこに自分の欲しい情報は絶対ないと思っている。日本語ですごく難しいし、だからそういう方に届くように紙ベースが良いと思う。

→対象者は子どもでも、大人でもいい。小さいお子さんの場合は、ぜひ保護者と参加して

もらいたい。

- ・通訳をしていただける方は、参加されるのか。

→やはりやさしい日本語やっぱり一番ではあるのかなと思うが、たまたま偶然その場に集まった人で、話せる人たちがいたらいいと思う。

- ・高校生を教えた経験から、親御さんが日本語を話せないってということで、しんどい思いをされていることがよくあった。そういう方が、相談できるような、ちょっとリラックスできるような場所になれば良いと思います。

→今回の場がそういった形にできるか分からないですがそういった場についても今後検討する。

- ・お悩み相談の場とするのか、発案の通り、まずはこのT C Kの人たちが自分のアイデンティティと文化を感じるような、ちょっと気軽に話せる場とするのか、ニーズが色々あるので目的をどこに置くのかというのを明確にした方がいいと思う。

- ・グループトークをするのであれば、ファシリテーターが一人いた方がいいと思う。

→2人ぐらいを確保できと思っています。

- ・受付を、やさしい日本語で対応するのかどうするのか、検討しないといけない。

（6）子ども作戦会議 2024

【概要】

- ・～2017年から毎年実施してきたが、コロナの関係で中断していたが、去年、復活して6月12日に「ことばザー」を実施。80人ぐらいの方に参加いただいた。

- ・子どもたちも盛り上がり、自分たちの力でやり切った満足感があったと思う。ただ、反省点がある。お金を受け取れないとか飲食物が食べられないってことを、念頭に置いてしまった結果、特に高学年の子が、自分の案を変更したり、引っ込めたりすることになったので、やりたいことをどうやらできるかなというのを大事にしたい思いがある。

- ・去年の6月から12月まで、全7ヶ月間で8回かけて行ったがちょっと長いと感じる。特に参加される方からすると、それだけの期間参加し続けられるかだとか、大枠のプロセスがあるだけで具体的に決まっているわけではなく、状況によってどんどん変えていくので、先が見えなさ過ぎて、参加の敷居が高いという意見があったので、今年は前半と後半に分けて実施しようと思う。

- ・前半は6月から8月にかけて、参加した子で、それぞれでやってみたい事をどうやらできるのか、何が必要かと考えて、具体的な実施案を考える。後半は、それぞれの考えたアイディアの中で、これってことば蔵のイベントでやったら「面白いよね」みたいなやつを一つ選び、イベントとして作り上げていくイメージで考えている。

- ・大きくは去年と一緒なんですけども前半後半に分けることによって、それぞれのアイディアをもうちょっと深掘りするようなことをしたいというふうに思っている。

・2024年の子ども作戦会議は小学生とその保護者の5組を想定。今年は保護者参加必須としたい。

【意見】

・今回2年生から4年生推奨となっていますが、6年生が参加しても良いか。
→何がどれくらい必要か数えたりする必要があるので1年生はきついなっていうのと、あとちょっと5、6年になると、現実的になってちょっと空を飛びたいみたいな、そういう、ちょっと純粹みたいながないので、2年生から4年生が楽しめるかなという意味での推奨なので制限ではない。

・シーズン1とシーズン2に分けるってことですけど、実際にシーズン2で、これならことば蔵でできるぞってところの線引きは、何ならゼロの可能性もあると思うのだが。企画が全部もう自分たちの中で、ある意味そのまま解決というか、完成形で終わってしまうこともあると思うのだが。

→それこそ、来た人がみんな世界旅行に行きたい。もう絶対ことば蔵じゃ無理やろみたいなのであれば、可能性もゼロではないと思う。ただ、今まで日本代表とサッカーやりたいとか、そういうのを一応イベントという形に変えてきているので、多分1個ぐらいは、何かこれだったらイベントとしてできるように、例えばヘアデザイナーになりたいっていうのであればヘアデザイナー的な企画を何かイベントという形にはできたらなと。世界旅行とかやったらちょっと、お父さんお母さんに交渉してチケット買ってもらうには、交渉をどうやっていくかみたいな事を一緒に考えて、その結果、世界一周できなくても韓国旅行いけたら、その結果をまた最後報告会してもらい形ができたらと思う。

・シーズン1とシーズン2に2回募集が必要で参加者の募集を頑張らないといけない。

→毎年、参加者の募集に苦戦しているので、ことば蔵と協力していく。

・前半後半ともに参加してもいいのか。

→自分の世界旅行を企てながら、他のイベント企画にも参加というのは大歓迎。

<イベント報告>

(1) カエボン部

参加者は3人。テーマ「返」にそった本を紹介しあった。令和6年度から、2か月ごとの奇数月に開催することにした。次回は4月17日(水)18時30分から、テーマ「入門」で開催

(2) みんなの居場所 新発見！伊丹にこんな居場所があったんだ

参加者33人。団体関係者が多く参加した。前半は企画者である「からふるいたみ☆こどもネットワーク」に加入している各団体の活動紹介、後半は理想の居場所に

についてグループに分かれて考えた。どのグループの発表にも「居心地の良い」や「いつでも行ける」といった要素があったのが印象的だった。

(3) 漫画を語ろう

参加者は7人。テーマは「もうすぐ新学期が始まるし、テーマとか決めずに好きに語ろうの回」。直近に訃報があった鳥山先生の漫画やイラストの話も上がった。次回は4月24日18時30分から。次回から3か月間、複数テーマを設けて紹介したい漫画が引っかかりやすくする。4月～6月のテーマは「試練」「資格」「フラグ」「一気見におすすめ」「回収された伏線、されなかった伏線」「雨」「旅」「実写化」

(5) ビブリオバトル

参加者6人。テーマは「はな」。ことば蔵スタッフも初参加し盛り上がった。次回は5月25日(土)テーマ「夢」で開催。

4 次回の運営会議 2024年5月1日(水曜日)18:30～ ことば蔵1階 交流フロア